

5 「暮らしを考える勉強会」の開催

地域で支え合うため必要な移動支援やコミュニケーションの取り方などの知識を、7回にわたり学びました。また、勉強会に参加していない方にも勉強会の様子を知ってもらうため、毎回会報紙を作成して地区全体に配布を行いました。



参加者から、「地区に気軽に立ち寄れる居場所が必要ではないか」という声が大きくなりました。

6 「ニーズ調査」の実施



勉強会に参加した方だけでなく地域全体の声を聴くために、会員がそれぞれの地区で1軒1軒訪問し、聞き取り調査を行いました。これまで会員が区の集まりや地域行事で地道に周知を行ってきたことで、調査は順調に進みました。

7 先進地視察（佐賀県外）

佐賀県の「中原たすけあいの会」をはじめ、地域で居場所づくりを実践している多くの先進地に視察に行き、円滑な運営をするための工夫を学びました。



8 「ニーズ調査」の集計・検証

上国崎地区は204世帯（409名）の地区住民全員から、竹田津地区は396世帯（748名）の84.2%の方からいただいた意見を集計しました。



9 事業の試験的実施・活動計画の作成

上国崎地区は「あらたにふれあい館」（旧上国崎幼稚園）、竹田津地区は「竹田津地区公民館」で健康づくりのための体操やゲーム、昼食の提供、会場までの移動支援を実施しました。その中で分かった運営上の問題を洗い出し、12月からの実施を決定しました。



国東市地域支え合い活動推進事業実施への道のり

竹田津地区と上国崎地区のみなさんが、国東市地域支え合い活動推進事業を実施するまでの取り組みをご紹介します。



モデル地区のこれまでの取り組み

平成28年	
1月	地域住民・社協・市との意見交換会
3月	先進地視察(竹田市) 生活支援講演会を開催
4月	暮らしを考える会の設立
5月	「暮らしを考える勉強会」開始
6月	「暮らしを考える勉強会」終了
7月	「ニーズ調査」の開始
8月	先進地視察(佐賀県外)
9月	「ニーズ調査」の集計・検証
10月	事業の試験的実施
11月	具体的な活動計画作成
12月	具体的な活動開始

1 地域住民・社協・市との意見交換会

国東市と社会福祉協議会は、竹田津地区と上国崎地区のみなさんと地域学習会を開催し、これから取り組もうとする「国東市地域支え合い活動推進事業」について意見交換をしました。



2 先進地視察(竹田市)

竹田津地区と上国崎地区の中から有志を募り、竹田市に先進地視察に行きました。そして、地域住民によるお互いの支え合い活動を行っている「暮らしのサポートセンター・りんどう」のみなさんと、具体的な活動内容や設立までの経過、支援者と利用者の声などを聞きました。



3 生活支援講演会を開催

NPO法人市民福祉団体全国協議会の田中尚輝専務理事から、介護・医療・福祉の制度の国の動向等を中心に、これから住民同士の支え合いがいかに大切になってくるかの講演を受け、地域で支え合う仕組みづくりを確認しました。



4 暮らしを考える会の設立

国東市地域支え合い活動推進事業に賛同し積極的に取り込む意思のある地域の代表や民生委員を中心に有志で、竹田津地区は「活力ある竹田津地区の暮らしを考える会」、上国崎地区は「あらたに会」を設立しました。